

第5次熊野町総合計画

平成24年度まちづくり指標 進捗状況

将来像

ひとまち育む筆の都 熊野

基本目標

- こころもからだも健やかな「ひと」を育む熊野
- 暮らしやすく、元気な「まち」を育む熊野

計画期間

基本構想	平成23年度～平成32年度
前期基本計画	平成23年度～平成27年度
後期基本計画	平成28年度～平成32年度

平成24年度末現在におけるまちづくり指標進捗状況をまとめましたので、お知らせします。

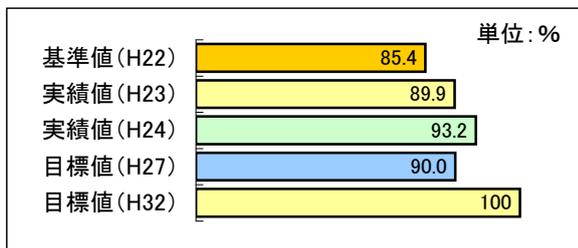
※基準値(H22)は、計画策定時における把握数値であり、平成22年度実績値とは異なる場合があります。

基本目標1 こころもからだも健やかな「ひと」を育む熊野

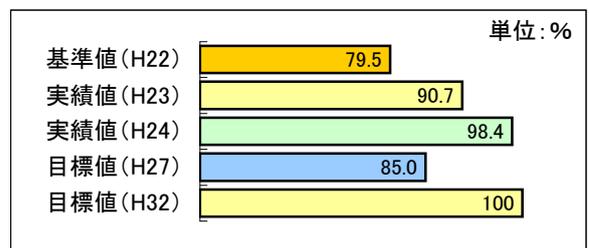
政策目標1 子どもが健やかに、たくましく育つまちとする

子育て世代の多様なニーズに応じた子育て支援や子どもが健やかに育つ環境づくりを進めるなど、地域全体で子育てを支援し、子育てを楽しむことのできるまちとします。また、一人ひとりの子どもが基礎学力を身につけ、それぞれの能力や個性に応じて独創力を伸ばし、将来を担う人材として豊かに育まれるまちとします。

■乳幼児健診の受診率(1歳6ヶ月児) (健康課)

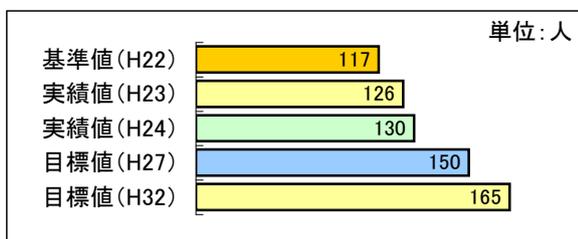


■乳幼児健診の受診率(3歳児) (健康課)

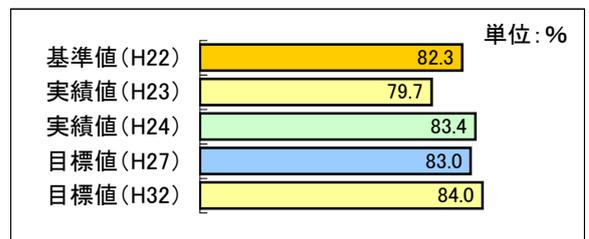


『こんにちはあかちゃん訪問事業』により、生後2か月～4か月の全ての乳児・産婦に対し家庭訪問を実施し、また、町内幼稚園・保育所等に対し、対象園児の受診勧奨の協力を得たこと、健診未受診者への個別訪問等積極的に受診勧奨したことで受診率が向上した。

■ファミリーサポートセンターの登録者数 (民生課)



■「授業がわかる」と回答した児童の割合 (学校教育課)

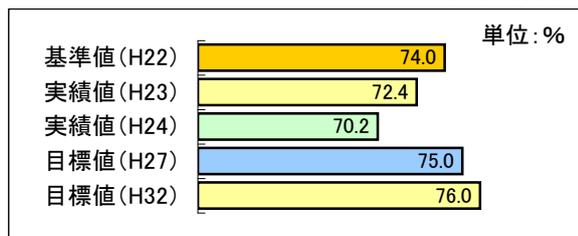


会員相互の育児に関する援助活動を行うことにより、子育て家庭に対する支援環境の整備を行なう事業である。

健康課や民生課での制度の紹介や広報誌等による周知のため増員となっており、引き続き地域活動団体等への協力依頼を継続して行う。

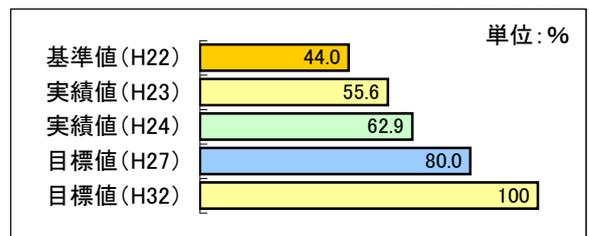
平成24年4月に実施した全国学力・学習状況調査(小学6年生)でのアンケート結果。

■「授業がわかる」と回答した生徒の割合 (学校教育課)



平成24年4月に実施した全国学力・学習状況調査(中学3年生)でのアンケート結果。

■学校施設の耐震化率 (学校教育課)

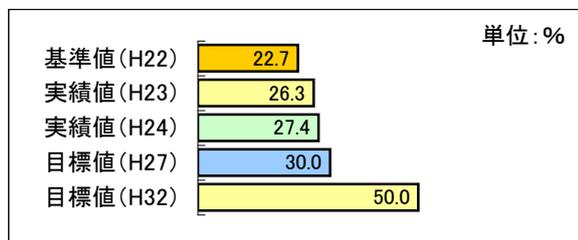


熊野第四小学校体育館、熊野中学校西校舎の耐震補強工事を実施した。また、熊野第二小学校普通教室・特別教室、熊野東中学校の特別教室・管理棟・体育館の耐震補強案及び実施設計を作成した。

政策目標2 共に支えあい、健やかに暮らせるまちとする

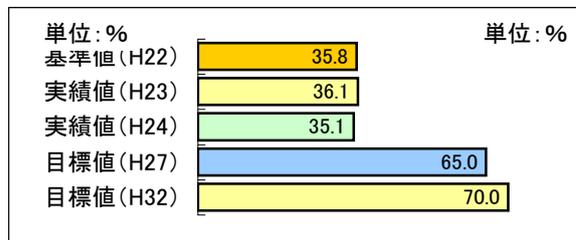
住民が安心して、地域で暮らしていくことができるよう、生涯にわたる心と体の健康づくりを支援します。そして、地域全体で共に支えあう地域福祉社会を構築し、高齢者や障害者など、誰もが地域で自立し、生活できるまちとします。

■各種がん検診受診率 (健康課)



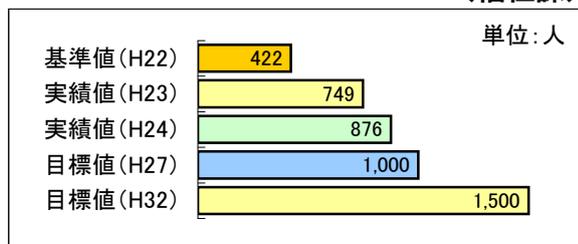
がん検診推進事業における無料クーポン券及び健診手帳交付の導入により、子宮がん・乳がん・大腸がん検診の普及啓発とともに受診率が微増となった。

■特定健康診査受診率 (住民課)



受診対象者: 5,270人
受診者: 1,850人

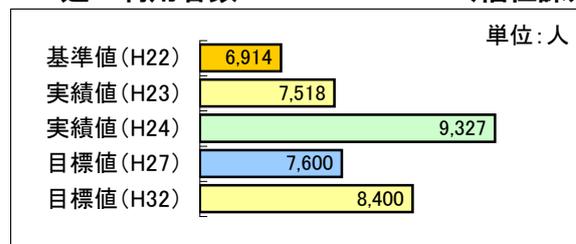
■認知症サポーター数 (福祉課)



養成講座の依頼を待つのではなく、介護保険事業所などを中心に出前的に講座を実施したため増加した。

養成者数: 876人(うち平成24年度127人)
開催回数: 37回(うち平成24年度10回)

■高齢者ふれあいサロン(ミニデイホーム)の延べ利用者数 (福祉課)

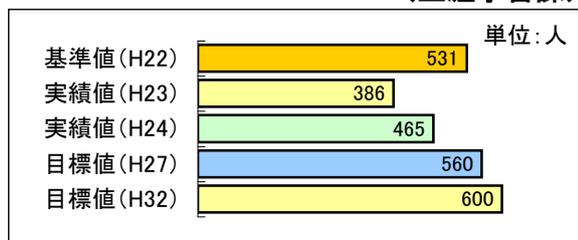


開催場所は19ヶ所で、新たに3地区5ヶ所の開催日が増えたため利用者が増加した。(新設箇所利用者1,100人)

政策目標3 住民の誰もが尊重され、活躍できるまちとする

人権が尊重され、すべての人が自分らしく生きることのできる社会を構築し、この地域社会の中で、世代を超え、それぞれの経験や技術を生かしながら、誰もが社会参加し、活躍できる活力と連帯感あふれるまちとします。

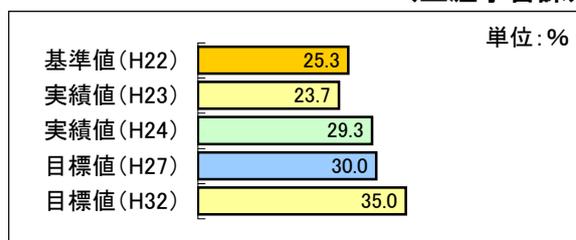
■人権尊重を目的とした講演会等の年間参加者数 (生涯学習課)



各公民館で、主催事業講座参加者に対する人権学習を実施した。

- ・金澤泰子人権講習会 180人
- ・ジャンボ衣笠・高齢者の人権落語会 48人
- ・各公民館における人権関係研修講座 169人
- ・男女共同参画ワークライフバランス講座 68人

■審議会などにおける女性委員の比率 (生涯学習課)



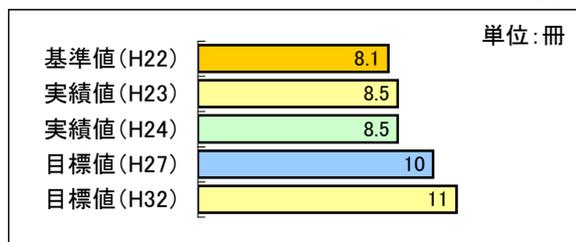
総委員数が平成23年度から3人増し、女性委員が生涯学習課所管の委員会において5人増加した。

審議会委員総数99人中、女性委員29人

政策目標4 住民が創造力を発揮できるまちとする

住民が生涯の各時期に応じて、身近な暮らしの場で、学習できる機会と場を確保します。そして、文化・スポーツ活動に親しむことのできる環境づくりを進め、新たな熊野の文化を創造・発信するなど、住民の誰もが創造力を発揮できるまちとします。

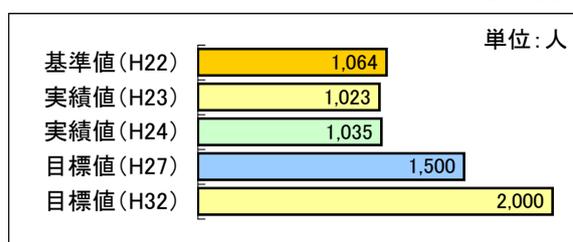
■図書館における人口一人当たりの貸出冊数 (生涯学習課)



人口一人当たり貸出数: (貸出総数212,233冊 / 人口24,878人) = 8.5冊

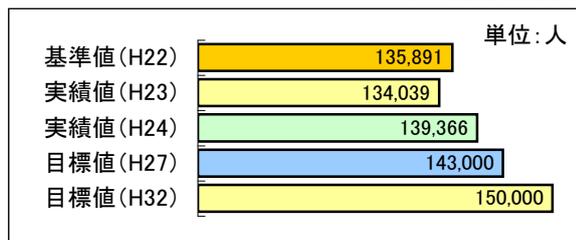
インターネットによる24時間サービスや図書館まつり、定期おはなし会の開催等により利用者の貸出冊数の増加につながった。

■総合型地域スポーツクラブ (筆の里スポーツクラブ)会員数(生涯学習課)



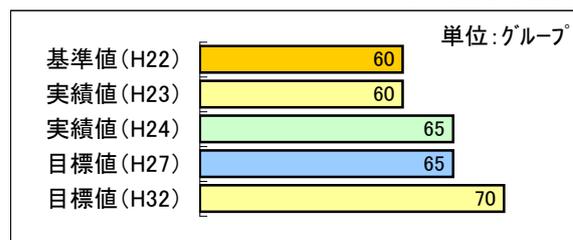
親子体操などの講座を設け、幼児のいる家庭への働きかけを行った。

■体育館等スポーツ施設の利用者数 (生涯学習課)



8月、ロンドンオリンピックなでしこジャパン応援事業として、町民夏まつりを実施した。また、10月の町民体育大会は、第50回記念大会として、幼児も交え町民全体を対象とするプログラムで実施した。

■町民文化祭の参加グループ数 (生涯学習課)



総合計画における目標数値を町民文化祭実行委員会において共通認識し、きめ細かな声かけや、各公民館グループへの勧誘を行った。

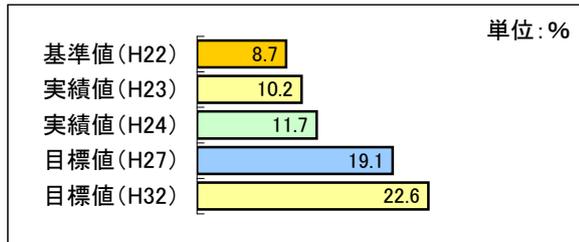
基本目標2 暮らしやすく、元気な「まち」を育む熊野

政策目標1 暮らしの基盤が整ったまちとする

秩序ある土地利用を誘導し、地域特性に応じたコンパクトで良好な市街地の計画的な整備や体系的な道路ネットワークの形成を進めます。そして、上・下水道など生活基盤の計画的な整備を進め、暮らしの基盤が整った、多様な定住を促進するまちとします。

■整備対象とする主要町道の整備率

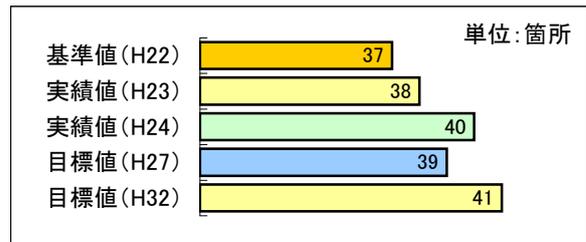
(建設課)



町道深原公園線L=0.05km、出来庭川角中央線L=0.14km、新萩線L=0.07km、稲垣線L=0.06kmの整備を行なった。

■町内公園数

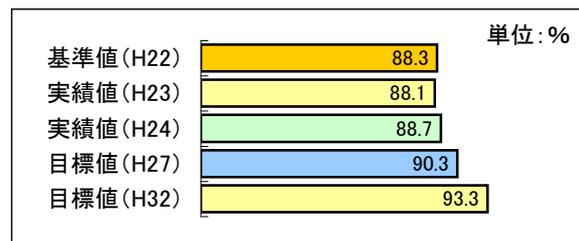
(都市整備課)



開発行為による公園の帰属により増加した。(川角本城公園149㎡、山ノ代公園150㎡)

■上水道普及率

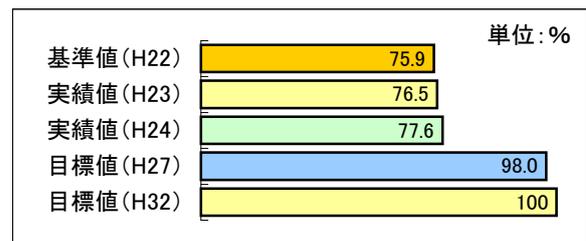
(水道課)



H24年度末現在普及率: 給水人口21,922人/給水区域内人口24,720人
未給水地区において4件の工事を実施したことにより、前年度と比較して0.6ポイントの増加となった。

■下水道整備率

(下水道課)



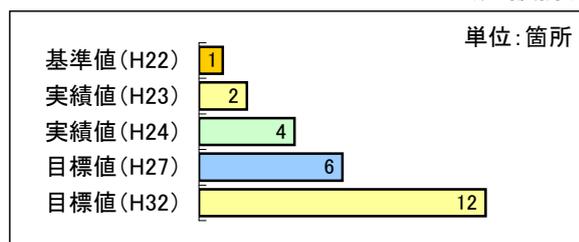
新宮地区4.4ha、平谷地区0.6ha、中溝地区0.3haの下水道整備を実施したことにより、前年度と比較して整備率1.1%の増となった。

政策目標2 日常生活を快適に暮らせるまちとする

住民が安全かつ快適に移動できる生活道路や歩道の整備、公共交通の確保と利便性の向上に取り組みます。そして、身近な自然と暮らしが調和した熊野ならではの美しい景観を創出し、住民が日常生活を快適に暮らし、熊野に住む心地よさを味わえるまちとします。

■町道における車道の改良箇所数

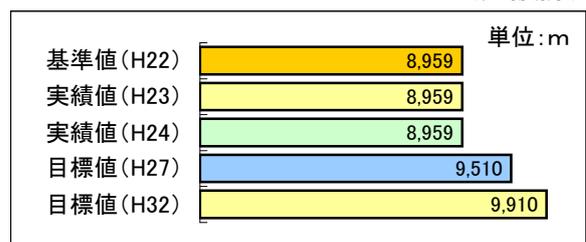
(建設課)



平成24年度において新萩線、中溝12号線の2箇所を実施した。

■町道における歩道延長

(建設課)



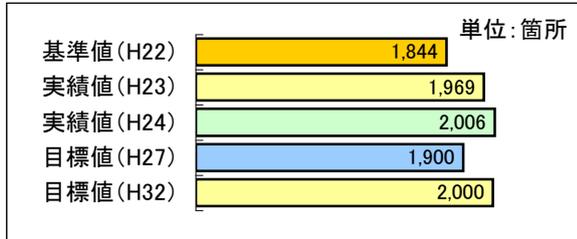
平成24年度末において整備中のため、歩道整備延長としては異動がなかった。

政策目標3 安全に安心して暮らせるまちとする

防犯力や交通安全対策を強化し、犯罪や交通事故が発生しにくい環境づくりを進めます。そして、地域の実情に応じた地域防災力や防災機能の向上を図り、住民が安全に安心して暮らせるまちとします。

■防犯灯設置基数

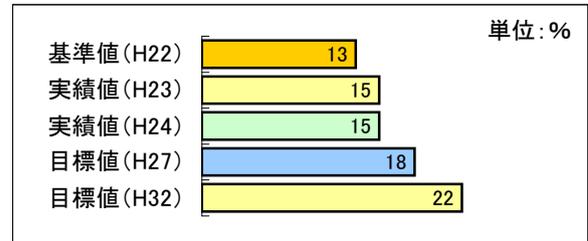
(生活環境課)



各自治会の防犯灯新設(23件)に対して補助金を支出した。その他、街路灯の新設、台帳整理により設置数が増加した。

■急傾斜地整備率

(建設課)



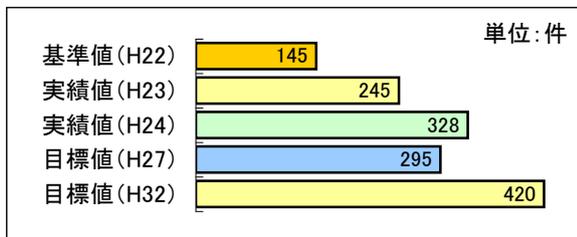
平成24年度は、整備要望がなかったため、異動なし。

政策目標4 地球環境に調和したまちとする

持続可能な社会の実現を目指し、低炭素社会や循環型社会、自然共生社会の構築に向けた取組を強化するなど、環境にやさしい暮らしを誇れるまちとします。農業については、農業生産と地域コミュニティ、他産業などとの連携を強化し、環境と調和した安定した生産のまちとします。

■太陽光発電設置家屋の数

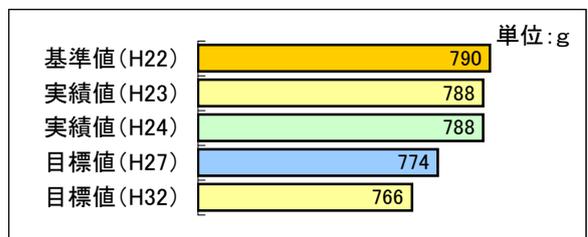
(生活環境課)



住宅用太陽光発電システム等の設置者に補助金を支出、平成24年度83件の整備を行なった。

■ごみの一人当たりの排出量

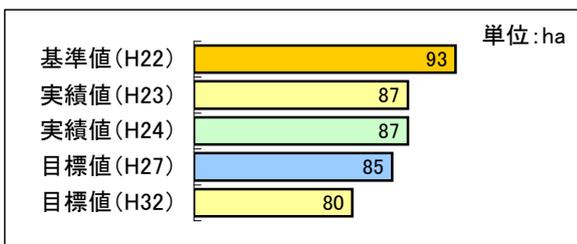
(生活環境課)



資源回収団体の支援、生ごみ処理機購入への助成を行なった。

■有休農地・休耕田面積

(都市整備課)

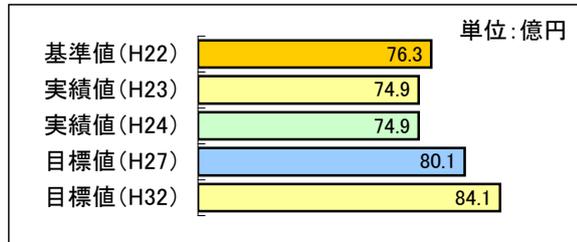


地域農業再生支援システム(平成24年度保全管理面積)より

政策目標5 元気のある産業が育つまちとする

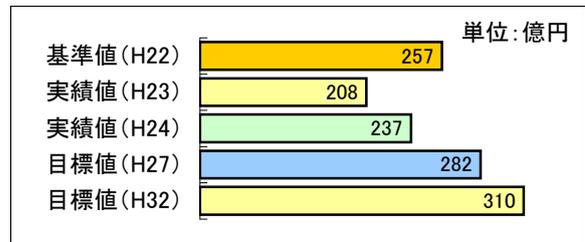
筆産業の高度化・付加価値化などへの支援による伝統産業の基盤強化、起業支援や企業誘致など新しい産業の育成、就業機会の創出に取り組みます。そして、まちの賑わいの場となる商店街の活性化など、まちの活力を創出し、将来に向けた成長をけん引する元気のある産業が育つまちとします。

■人口千人当たり年間商品販売額 (商工観光課)



平成21年度商業統計より

■製造品出荷額等(従業員4人以上の事業所) (商工観光課)

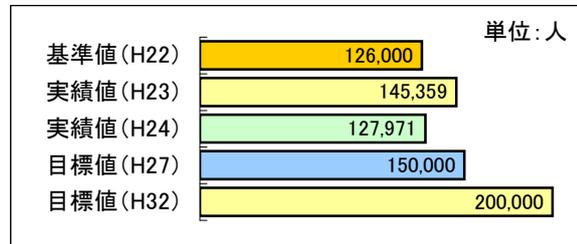


平成23年度工業統計「第3表市町別統計表」より

政策目標6 筆産地の歴史と文化を生かした出会いと交流のあるまちとする

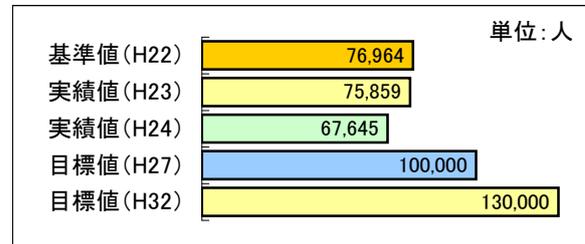
日本一の筆産地の歴史と文化を誇りとしながら、多様な地域資源を総合的に活用し、ネットワーク化します。そして、その個性と魅力に磨きをかけることにより、多くの人を惹きつけ、新たな出会いと交流が賑わいと感動を創出する個性と魅力に富んだブランド力のあるまちとします。

■年間入込観光客数 (商工観光課)



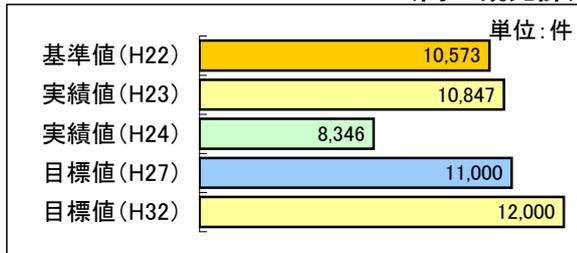
平成23年度、なでしこ効果により大幅に増加した観光客数が減少したこと、震災等の社会的な影響により、観光客数が減少したと考えられる。

■筆の里工房年間来館者数 (商工観光課)



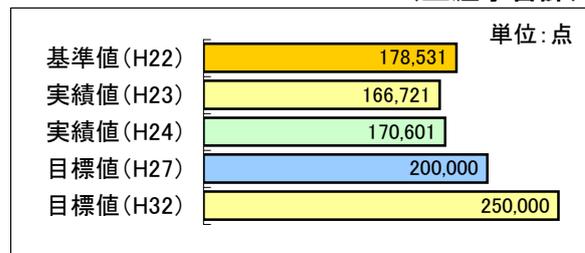
平成23年度、なでしこ効果により大幅に増加した観光客数が減少したこと、震災等の社会的な影響により、観光客数が減少したと考えられる。

■ありがとうの絵手紙大賞の応募者数 (商工観光課)



筆の里工房事業により筆の里工房の一層の活用と活性化を図ったが、応募〆切を1ヶ月早めたため児童生徒の応募数が減少した。

■全国書画展覧会の応募作品数 (生涯学習課)



10年に一度の第80回記念で内閣総理大臣賞が授与される効果もあり、平成23年度から増加したと思われる。また、東日本大震災被災地3県(岩手、宮城、福島)の作品整理料の無料(被災時から)も増加につながっている。

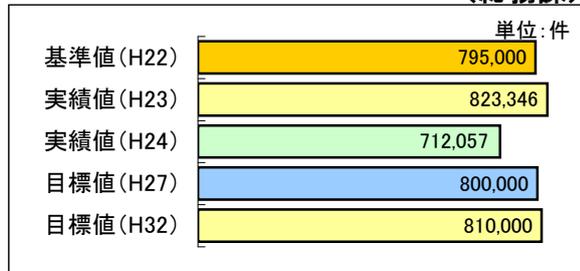
行政運営 住民の満足度の高い魅力的なまちづくりを行う

運営目標1 住民との協働による信頼と連携の地域経営を確立する

情報の共有化などによって、住民と行政の信頼感を構築します。そして、住民と行政がそれぞれの責任と役割分担のもと、共通の目標に向かって知恵と工夫を発揮する、住民との協働によるまちづくりを推進します。

■町ホームページへのアクセス数

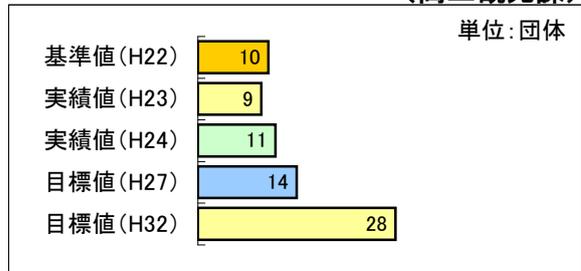
(総務課)



専門的な知識がなくても、各所属においてホームページが作成できるよう、I-cityPortal(作成ソフト)の職員研修を実施した。

■まちづくり活動団体数

(商工観光課)



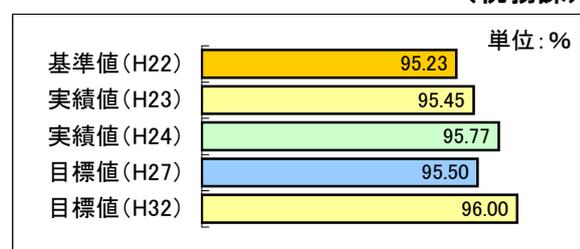
地域課題の解決、地域福祉の向上及び良好な地域コミュニティの形成が期待できる事業に取り組むまちづくり協働団体を育成支援した。申請数、助成団体数はともに11団体。

運営目標2 持続的なまちづくりを支える行政運営を確立する

財政の健全化や組織の活性化を進め、施策の重点化、総合化、横断化を図るとともに、透明性の高い計画の進行管理を行い、ムダ・ムリ・ムラのない先進性の高い行政運営に努めます。

■町税徴収率

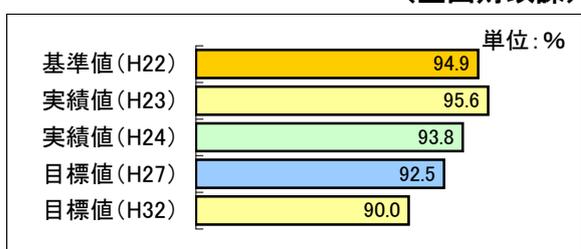
(税務課)



多段階催告や適正な滞納処分を執行した。また、コンビニ収納を導入し、納付の利便性向上を図った。

■経常収支比率

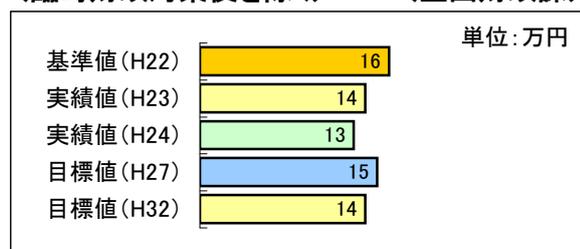
(企画財政課)



経常収支比率: 経常充当一般財源4,518百万円/経常一般財源4,817百万円

■町民一人当たりの起債残高 (臨時財政対策債を除く)

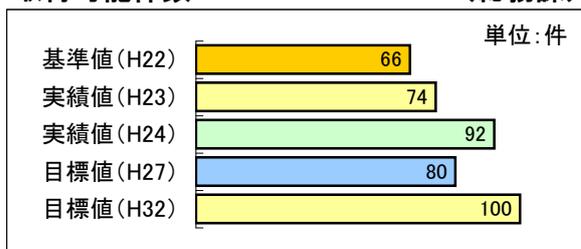
(企画財政課)



(平成24年度末起債残高6,608,375千円-臨時財政対策債残高3,308,428千円)/平成24年度末住民基本台帳人口25,010人

■町ホームページによる各種申請書様式の 取得可能件数

(総務課)



平成24年度、電子申請に4手続き、9様式(総務課7、健康課2)、その他9様式を追加した。

まちづくり指標進捗状況一覧

	政策目標	施策目標	指標	基準値 (平成22年)	平成23年 実績値	平成24年 実績値	進捗 状況	前期目標値 (平成27年)	後期目標値 (平成32年)	単位	担当課	
1		地域ぐるみで子育て支援を行う	乳幼児健診の受診率（1歳6ヶ月児・3歳児）	1歳6ヶ月児 85.4	89.9	93.2	◎	90.0	100	%	健康課	
				3歳児 79.5	90.7	98.4	◎	85.0	100	%		
2	子どもが健やかに、たくましく育つまちとする	心豊かで能力のある人材を育成する	ファミリーサポートセンターの登録者数	117	126	130	○	150	165	人	民生課	
「授業がわかる」と回答した児童生徒の割合（小学生・中学生）			(小)82.3	79.7	83.4	◎	83.0	84.0	%	学校教育課		
			(中)74.0	72.4	70.2	△	75.0	76.0	%			
4				学校施設の耐震化率	44.0	55.6	62.9	○	80.0	100	%	学校教育課
5	共に支えあい、健やかに暮らせるまちとする	生涯にわたる健康づくりを支援する	各種がん検診受診率	22.7%	26.3	27.4	○	30.0	50.0	%	健康課	
6			特定健康診査受診率	35.8	36.1	35.1	△	65.0	70.0	%	住民課	
7			健康づくりへの支援の満足度	48	—	—	—	50	55	%	健康課	
8			高齢者や障害者など、誰もが地域で自立して生活できるよう支援する	認知症サポーター数	422	749	876	○	1,000	1,500	人	福祉課
9				高齢者ふれあいサロン（ミニデイホーム）の延べ利用者数	6,914	7,518	9,327	◎	7,600	8,400	人	福祉課
10	住民の誰もが尊重され、活躍できるまちとする	すべての人が自分らしく生きることのできる社会を確立する	人権尊重を目的とした講演会等の年間参加者数	531	386	465	△	560	600	人	生涯学習課	
11			審議会などにおける女性委員の比率	25.3	23.7	29.3	○	30.0	35.0	%	生涯学習課	
12	住民が創造力を発揮できるまちとする	生涯にわたって学べる環境を整える	図書館における人口一人当たりの貸出冊数	8.1	8.5	8.5	○	10	11	冊	生涯学習課	
13			総合型地域スポーツクラブ（筆の里スポーツクラブ）会員数	1,064	1,023	1,035	△	1,500	2,000	人	生涯学習課	
14			体育館等スポーツ施設の利用者数	135,891	134,039	139,366	○	143,000	150,000	人	生涯学習課	
15			地域文化を継承し、発展させる	町民文化祭の参加グループ数	60	60	65	○	65	70	グループ	生涯学習課
16	暮らしの基盤が整ったまちとする	生活基盤を整える	道路の利便性を高める	整備対象とする主要町道の整備率	8.7	10.2	11.7	○	19.1	22.6	%	建設課
17			町内公園数	37	38	40	◎	39	41	箇所	都市整備課	
18			上水道普及率	88.3	88.1	88.7	○	90.3	93.3	%	水道課	
19			下水道整備率	75.9	76.5	77.6	○	98.0	100	%	下水道課	
20	日常生活を快適に暮らせるまちとする	快適に移動できる環境を整える	町道における車道の改良箇所数	1	2	4	○	6	12	箇所	建設課	
21			町道における歩道延長	8,959	8,959	8,959	△	9,510	9,910	m	建設課	
22	安全に安心して暮らせるまちとする	犯罪や交通事故から住民を守る	防犯灯設置基数	1,844	1,969	2,006	◎	1,900	2,000	箇所	生活環境課	
23			急傾斜地整備率	13	15	15	○	18	22	%	建設課	
24			自主防災組織における活動組織数	0	0	0	△	5	10	件	総務課	
25	地球環境に調和したまちとする	環境にやさしい暮らしを確立する	太陽光発電設置家屋の数	145	245	328	◎	295	420	件	生活環境課	
26			ごみの一人当たりの排出量	790	788	788	△	774	766	g	生活環境課	
27			地域の暮らしに密着した農の里をつくる	農業生産法人数	0	0	0	△	1	3	法人	都市整備課
28			有休農地・休耕田面積	93	87	87	△	85	80	ha	都市整備課	
29	元気のある産業が育つまちとする	産業を元気にする	人口千人当たり年間商品販売額	76.3	74.9	74.9	△	80.1	84.1	億円	商工観光課	
30			製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）	257	208	237	△	282	310	億円	商工観光課	
31	筆産地の歴史と文化を生かした出会いと交流のあるまちとする	筆産地の魅力を高める	年間入込観光客数	126,000	145,359	127,971	△	150,000	200,000	人	商工観光課	
32			筆の里工房年間来館者数	76,964	75,859	67,645	△	100,000	130,000	人	商工観光課	
33			筆の都から美を発信する	ありがとうの絵てがみ大賞の応募者数	10,573	10,847	8,346	△	11,000	12,000	件	商工観光課
34			全国書画展覧会の応募作品数	178,531	166,721	170,601	△	200,000	250,000	点	生涯学習課	
35	住民との協働による信頼と連携の地域経営を確立する	住民との信頼関係を強化する	町ホームページへのアクセス数	795,000	823,346	712,057	△	800,000	810,000	件	総務課	
36			住民との協働のまちづくりを進める	まちづくり活動団体数	10	9	11	○	14	28	団体	商工観光課
37	持続的なまちづくりを支える行政運営を確立する	自主性・自立性の高い財政運営を行う	町税徴収率	95.23	95.45	95.77	◎	95.50	96.00	%	税務課	
38			経常収支比率	94.9	95.6	93.8	○	92.5	90.0	%	企画財政課	
39			町民一人当たりの起債残高	16	14	13	◎	15	14	万円	企画財政課	
40		社会の変化に対応できる行政運営を行う	町ホームページによる各種申請書様式の取得可能件数	66	74	92	◎	80	100	件	総務課	

※進捗状況凡例 ◎:前期目標を達成 ○:前年度から改善 △:前年度と同数値又は後退
 ※基準値(H22)は計画策定時における把握数値であり、平成22年度実績値とは異なる場合があります。
 ※指標7はアンケート調査に基づく数値であり、後期基本計画において把握予定のため「-」表示としています。